

外国人患者受け入れ環境整備のための
医療通訳養成研修 2020
Training Program for Medical Interpreter

2020年7月24日



主催：国立国際医療研究センター 国際診療部
協力：インタースクール 株式会社
運営事務局：メディフォン株式会社
後援：一般財団法人 日本医療教育財団（予定）

ごあいさつ

●本研修は、実際に医療通訳とともに患者さんを支えている医療機関・医療通訳専門団体が企画しています。医療通訳に必要なのは語学力ではありません。日本の医療制度、医療機関の特性などを理解し、多職種と連携するポイントを学べるよう支援します。

●本研修の講師は、実際に通訳を介して医療を行ったことがある医療者や、医療通訳の養成・スーパーバイズに関わっているスペシャリストです。リアルな現場での事例から学びましょう。

●2020年度の研修は、新型コロナウイルス対策として検討をした結果、オンラインでの講習会開催といたします。

●オンラインでは不足しがちな学習内容については、事例での学びを増やすなどの工夫を行います。

安全に医療通訳を行うためには、医療通訳だけでなく、医療者がわかりやすい日本語を話す努力も必要です。また、通訳を行う病気や医師の説明内容について、情報を事前に共有する等の工夫も大切です。医療機関および医療通訳専門機関として、医療者への支援も行っています。語学が障壁となって健康や安全が損なわれないように、皆でよい医療通訳制度となるように努力をしてみよう。

研修会 スタッフ一同

主催：国立国際医療研究センター 国際診療部

協力：インタースクール 株式会社

運営事務局：メディフォン株式会社

後援：一般財団法人 日本医療教育財団（予定）

医療通訳養成研修 2020

(NCGM オンライン医療通訳 研修)

●プログラムの目的

日本に長期・短期に滞在する外国人の方が、安心して医療を受けられるように、患者・家族－医療者のコミュニケーションをサポートする通訳を養成します。

●本プログラムの特徴

国立国際医療研究センター(NCGM)は、日々外国人患者の受診・救急搬送を受け入れており、患者対応の経験が豊富です。医療通訳に必要な支援のノウハウを合わせて学びます。

修了生は当院が主催するセミナーや勉強会に参加できます。

※本講座は医療通訳技能認定試験の受験資格対象の講座となっています。

受験資格、受験の方法などは認定試験主催団体におといあわせください。

●対象

- 1) すでに医療通訳として活動をしているが、体系的に学んだことがない人
- 2) 医療以外の通訳の実績はあるが医療通訳の現地経験がない人
- 3) 通訳としての活動は未経験であるが、研修終了後に通訳としての業務に従事予定の人
- 4) 通訳業務を行う予定はないが、通訳とともに外国人患者支援に関わる人・関わる予定の人

●講義は日本語で行います。どの言語の通訳希望者でも受講できます。

●NCGMより修了条件を満たした人に修了証を発行します。ただし、発行まで、研修生からの課題提出後、1カ月以内とさせていただきます。

医療通訳研修Ⅰ（医療通訳として必要なスキル・倫理・危機管理事項等）

医療通訳研修Ⅱ（医学・医療の知識強化）

医療通訳の演習

他の分野の通訳経験はあるが、医療での通訳経験がない場合、事例ベースの訓練が必要です。

医療通訳の実習

語学レベルや経験に応じて、医療現場での通訳の見学・実習を行うことでスキルアップをすることができます。

すでに医療通訳の知識や実績があるが、体系的な研修を受けたことがない方には、訓練の証明としてⅠの修了証取得をお勧めします。

医療通訳実績をかさね、就職や派遣登録や各種資格の受験に活用できます。

【本研修の参加のめやす】

- ◆医療等の資格は必須ではありません
- ◆原則として満20歳以上である
- ◆母語において、大学入学相当の語学力と高校卒業程度の知識がある
- ◆対象言語において高度な会話や議論ができる

※健康についての抽象的あるいは具体的な話題について理解することができる

- ◆母語、対象言語の国や地域における習慣・価値・社会常識を理解している

各言語別学習能力試験（ヨーロッパ言語共通参照枠『CEFRにおけるB2以上』のめやす）、

中国語 HSK4級

英語 TOEFL iBt87-109, TOEIC Listening400以上, Reading385以上

日本語能力試験 N1 およびN2 を取得済みでN1 受験予定の方

【研修修了の条件】

- ・すべての講義への参加
- ・指定された研修記録の提出
- ・研修中に指定したレポートの提出
- ・到達度確認の試験や面談などで一定のレベルをクリアしていること（科目によって実施するものとしなものがあります）

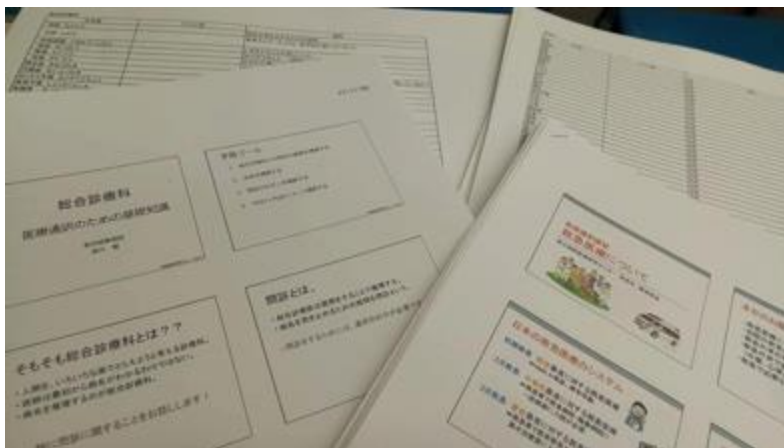
【参考資料】

講義の中で紹介します。必要な資料はすべて配布します。

NCGM オンライン医療通訳研修 カリキュラム

本研修は、厚生労働省研究班が提示する「医療通訳育成カリキュラム基準（育成カリキュラム実地要項）」を元に、現場により即した形にアレンジしています。

		対象
医療通訳研修Ⅰ	医療通訳の基礎・応用（自主課題含め 約 27時間）	<ul style="list-style-type: none"> ■これから医療通訳に関わる予定の人 ■すでに医療通訳業務に関わっているが、体系的な研修を受けたことがない人 ■医療通訳と一緒に働く医療関係者等
医療通訳研修Ⅱ	医学・疾患・医療制度（自主課題含め 約45時間）	
参考 医療通訳演習	研修会に参加することで学べます	医療機関実技・演習（約 23時間）
参考 医療通訳実習	医療機関で実習を行います（約30時間） スーパーバイズを受けながら外来及び病棟にて通訳支援事例を担当	
<p>研修ごとに一定の要件を満たした人は修了証を発行します。研修修了者はNCGMが主催・企画する関連の研修会等に無料で参加が可能です。*一部有料セミナーもあります</p>		



医療通訳に期待をこめた医師の講義資料

NCGM オンライン医療通訳研修 I・II

医療通訳研修 I (昨年度の3日分の内容を半年間学べるようにしています)

医療通訳研修 II (昨年度の5日分の内容を半年間学べるようにしています)

会場：オンラインでの受講

医療通訳研修 I 開講：2020年8月22日

医療通訳研修 II 開講：2020年9月15日

下記は昨年実績です。本年度は下記を参考にオンライン研修用にアレンジをしています。詳細は講義予定表をご確認ください。

研修 I	講義内容(予定)	担当(予定)
1日目	外国人患者増加の背景／日本・海外における医療通訳の現状／医療通訳役割／専門職としての責任の範囲／医療機関の部門・職種の役割とコミュニケーション	国立国際医療研究センター国際診療部スタッフ 外部講師
2日目	言語プロフィール／医療通訳者のコミュニケーション／医療従事者と患者の文化的及び社会的背景についての理解／医療通訳現場でおこりやすい誤解・トラブルの回避法	国立国際両研究センター国際診療部スタッフ 外部講師
3日目	通訳者の自己管理(感染対策・ストレスマネジメント)／患者・家族との適切な距離／問題・課題の解決法(病院・スタッフ・行政への提案含む)／通訳実技	国立国際医療研究センター国際診療部 外部講師

研修 II	講義内容(予定)	担当(予定)
1日目	外国人患者で活用する医療福祉制度・支払いの課題 よくある症状と受診先「おなかが痛い」「頭が痛い」「食欲がない」での通訳／救急外来での通訳／服薬指導の通訳	国立国際医療研究センター国際診療部スタッフ 外部講師
2日目	総合診療・救急外来・眼科・耳鼻科・呼吸器科での通訳 整形外科・消化器科・産婦人科/婦人科・小児科での通訳	
3日目	循環器科・腎臓内科・内分泌・代謝科・乳腺腫瘍内科での通訳	
4日目	リハビリテーション科・緩和ケアでの通訳	
5日目	基本的な医学知識、各科でよく経験する症例、間違いやすい表現などを学びます。	

NCGM オンライン医療通訳研修 受講料

	内容	2020年オンライン 研修特別受講料	受講有効期間
医療通訳Ⅰ	12講義・1演習 5日間に分けて 実施、自主取 組み課題含めて 約27時間	35,000円	2021年2月末
医療通訳Ⅱ	21講義（予定） 自主取り組み課 題含めて約 45時間	70,000円	2021年2月末
新型コロナウイルス特別講義		I または II 受講者 は無料	2021年2月末
再受講コース ・医療通訳Ⅰ ・医療通訳Ⅱ ・新型コロナウ イルス特別講義	上記と同じ	10,000円	2021年2月末

*受講料は振込先は運営を委託しているメディフォン株式会社となります。

*領収書の発行は可能です。オンライン申込みの際に、必要な情報をご記入ください。

*オンライン受講にはビデオ会議アプリ“Zoom”のダウンロード（無料）が必要です。

詳しいダウンロード方法・接続方法については、お申込み後に事務局よりお知らせします。

*英語・中国語以外の言語を対象に若干名のスカラシップを募集します。医療通訳の経験が一定程度ある方で、研修終了後、5件程度の遠隔医療通訳業務（OJT）を実施できること等が条件となります。お申込み後、事前審査を行います。詳しい審査内容などはNCGM医療通訳養成研修運営事務局（メディフォン株式会社内）までお問合せください。

【注意事項】

- 1) 受付は受講料支払い完了後に確定します（申し込み後、期日までの支払いがない場合、自動的に申込がキャンセルとなる場合があります）。
- 2) 受講に関する連絡は原則としてメールで行います
- 3) 修了証は講義・ワークへの出席が80%以上、欠席した分の指定課題を提出し、修了と判断された場合に発行されます。規定に満たない場合は、発行されません。

*8月22日から始まる医療通訳Iにライブで参加される場合の受講料のお支払い後のキャンセルについては、以下のキャンセルポリシーの規定に従います。予めご了承の上、お支払いをお願い致します。返金の際には、以下の返金額から返金にかかる振込手数料を差し引いた金額を、ご返金致します。

- ・開講日14日前18時までには事務局にキャンセル連絡を頂いた場合：100%返金
- ・開講日7日前18時までには事務局にキャンセル連絡を頂いた場合：50%返金
- ・開講日3日前18時までには事務局にキャンセル連絡を頂いた場合：80%返金
- ・開講日3日前18時以降にキャンセル連絡を頂いた場合、事前のキャンセル連絡なく欠席された場合：返金なし

*医療通訳I（ライブで参加しない場合）と医療通訳IIのオンライン研修の場合は、受講料のお支払い後のキャンセルについては、ご返金致しかねますので、予めご理解の上、お支払いをお願いいたします。

オンライン研修での学び方

研修Ⅰ：1コマ 60分

基本講義

質疑

レポート課題説明



オンラインで提出

研修Ⅱ：1コマ 90分

基本講義：30分

よくある疾患・説明 30分

事例から学ぶ：30分

課題説明：用語集作成



オンラインで提出

8/22

9月

11月末

2月末

申込期間

ライブ配信

研修Ⅰ



オンライン聴講

研修Ⅱ

オンライン聴講

医療通訳研修 I

	土曜日 開講	・40分の講義 + 20分の質疑（午前中の予定） ・レポート課題
講義 1	8/22	日本の医療機関における医療通訳導入状況（制度・謝金・責任）
講義 2	8/22	医療通訳の養成状況・継続学習の必要性・方法
講義 3	8/22	医療機関における個人情報の扱い・情報共有
講義 4	8/29	長期在留者の健康問題と医療通訳
講義 5	8/29	短期滞在者の健康問題と医療通訳
講義 6	8/29	渡航受診における医療通訳
講義 7	9/5	遠隔通訳
講義 8	9/5	医療機関・依頼主との契約
講義 9	9/5	誤訳が発生した場合の対応
講義 10	9/12	医療通訳の健康管理
講義 11	9/12	対人援助職のための心理学
講義 12	9/12	日本の医療機関における支払いシステム・未収金対策
実技・演習	9/19	通訳実技基礎・通訳演習

<通訳研修 I で学ぶ内容>

外国人患者増加の背景／日本・海外における医療通訳の現状／医療通訳役割／専門職としての責任の範囲／医療機関の部門・職種の役割とコミュニケーション

言語プロフィール／医療通訳者のコミュニケーション／医療従事者と患者の文化的及び社会的背景についての理解／医療通訳現場でおこりやすい誤解・トラブルの回避法

通訳者の自己管理（感染対策・ストレスマネジメント）／患者・家族との適切な距離／問題・課題の解決法（病院・スタッフ・行政への提案含む）／通訳実技

医療通訳研修Ⅱ（9月以降配信予定）

	・基礎講義（30分）＋よくある疾患と受診パターン（30分） よくある症例と通訳のポイント（30分）
講義 1	総合診療
講義 2	救急外来
講義 3	小児科
講義 4	産科
講義 5	婦人科
講義 6	消化器内科
講義 7	循環器内科
講義 8	腎臓内科
講義 9	内分泌・代謝科
講義 10	呼吸器内科
講義 11	整形外科
講義 12	乳腺腫瘍内科
講義 13	眼科
講義 14	耳鼻科
講義 15	緩和ケア
講義 16	リハビリテーション
講義 17	通訳演習：手術を受ける患者の通訳（麻酔）
講義 18	通訳演習：予防接種の医療通訳
講義 19	通訳演習：人間ドックの医療通訳
講義 20	通訳演習：服薬指導の通訳
講義 21	様々な制度の利用

NCGM医療通訳研修 I・II 申し込み

下記からオンラインで申し込んでください。

研修I・研修IIのオンライン聴講は、11月30日まで
~~但し、研修Iをライブで参加する場合は、8月19日まで~~

研修Iのライブ受講は、事務局で受講料のご入金を確認でき次第、
随時開始可能となります。

https://bit.ly/ncgm_training2020

こちらのQRコードからも
オンライン申込みフォームにアクセスいただけます。



10名以上の団体でお申し込みの場合、受講料の割引がございます。
詳細は、下記【運営事務局】までお問い合わせください。

【企画・主催（内容について）】
国立国際医療研究センター 国際診療部
nahori@hosp.ncgm.go.jp または、iccinfo@hosp.ncgm.go.jp
問い合わせはメールでお願いします

【運営 事務局（受付）】
メディフォン株式会社
TEL：03-6426-5451（平日：9:00-17:00）
MAIL：ncgm_training@mediphone.jp